



# 新理事会スタート！

## 運営のすすめ方、年間スケジュール、 分担、組合員活動推進計画を検討



理事会のようす



第22期理事会メンバー

(写真欠) 戸井田理事、新堀理事、石川監事



理事会と職員顔合わせ会

総代会後初の理事会が開かれました。理事の皆さん総代会でお顔合わせて以来の再開でしたので、最初に自己紹介から始まりました。今年の理事の編成は理事経験者、未経験者、重任者様々でフレッシュな顔ぶれでのスタートです。前期理事会が新センター建設でとても大きな決断と決裁をしていただきました。今期の理事会はそれを受けて、現状の立ち位置と次の世代による仕組みや、ルール作りをしていきます。また、様々な組合員活動に理事会メンバーが率先してリーダーシップを発揮して常総生協を支えてゆくことを確認しました。

理事会終了後には職員との顔合わせを行い、役職員ともに力をあわせて組合員の台所と生産者、地域の人々をつなぎ、しっかりした常総生協を築いてゆくことを決意しました。

(2016.6.30 専務理事 伊藤)



## 第22期 役員 所信表明 (三役は掲載済み)

役員	氏名		地区	所信表明
理事	野口 由美子	重任	守谷市	また素敵な皆さんとご一緒できてうれしいです。少しずつでも常総生協の良さを広めていきたいです。
理事	西村 静江	重任	牛久市	前期は新センター建設から40周年記念事業まであわただしい2年をおくってしまいました。この経験を生かし、今期は落ちついて自分の出来る事、やるべき事に取り組んでいきたいと思います。
理事	樋口 とも子	重任	柏市	前理事さんより引き継いだ乾物料理講習会を開催して2年、第8弾までやってきました。まだまだ継続してほしいとの希望もあり、もう一期理事を経験させていただきます。千葉地区の産直運動としての三里塚ワンパック野菜も、もう少し生産地に足を運び、生産者さんとの交流をもちたいと思います。よろしくお願いいたします。
理事	増本 綾子	新任	つくば市	常総生協を通じて東日本大震災、常総市の水害支援をいっしょに経験し、絆の大切さを感じました。これからも組合員、生産者、いろいろな方々とのつながりを次世代にも続いて行けるよう、微力ながら参加させて頂きたく存じます。よろしくお願いいたします。
理事	新堀 扶三子	新任	つくば市	常総生協さんと共に歩んで12年。つくば市に住む新堀扶三子と申します。命ある食に支えられて家族の健康が守られてきました。2011年の原発事故の際には、いち早く授乳中だった私の母乳を検査して下さいました。公園や子どもたちが口にするであろう砂場の砂やどんぐりの放射線を測って頂き、そらら一つ一つの結果に対してともに悩み、考え、行動して頂きました。憲法のこと、農業のこと、災害復興支援のことなど、学び行動しなければならないことは多々あると思っていますが、日常の家事をこなすと一日が終わってしまう日々です。こんな私ではありますが、常総生協の皆さまから学ばせて頂き、生協の豊かな発展、そしてそれが私たちの住む社会の暖かい発展となるよう努力したいと思っています。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
理事	佐藤 登志子	新任	我孫子市	常総生協にとって重要な時期をむかえている時に、どれだけお力になれるかわかりませんが、私の持てる力で最大の努力をさせていただきます。
理事	稲葉 明子	新任	利根町	素晴らしい機会を与えて下さり、ありがとうございます。生産者さん、業者さん、職員さん、組合員さんとたくさんの方々によって常総生協が作られていると最近しみじみと感じています。今までただ組合員として生協を利用させて頂いていましたが、思いがけない理事のお話に、身が引き締まる思いです。自分が出来ることは何か、を考える良い機会でもあると思いました。頭の中は真っ白というかまだ白紙状態、良い考えが浮かんでくればと思います。こんな自分ですがご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。
理事	佐藤 理絵	新任	つくばみらい市	今回初めて理事をさせていただきます、佐藤理絵と申します。私は、理事として常総生協の良さを勉強し、地域に配信していけるようにしていきたいと思っています。地域のとのコミュニティーを大切に、食について一緒に学んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。
理事	矢島 裕也	新任	職員	常総生協の目指す「食はいのち」→「安心して健康的な暮らしができる地域づくり」を念頭に、地域の仲間づくり、組合員、職員、生産者を繋げる活動に全力を尽くしたいです。
監事	小島 いみ子	重任	取手市	経営の立て直しにどれだけ貢献できるかわかりませんが、前期よりもさらに踏み込んだ活動をしてきたいと思いますので、宜しく願い致します。
監事	石川 裕子	重任	柏市	前期に引き続いて2期目となります。子供達のためにも、私にとってはなくてはならない常総生協です。刷新された組織や職員さん達の応援をしたい気持ちで立候補しました。よろしくお願いいたします。
監事	菅沼 和子	重任	つくば市	微力ではありますが、前期に引き続き監事を務めさせていただきます。常総生協の「協同の理念」の実現をめざし、日常の業務、組合員活動がそのささえとなるような歩みとなうよう見守りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## (第22期) 第2回理事会

**理事会**は月1回(4時間)月末週水曜日の定例会とし、共通理解を深めながらひとつひとついねいな討議を大切にすることを確認しました。

**常任理事会**は週1回金曜日開催し、運営・活動、事業について検討することとしました。

**役職員研修会**を8月、3月に開催することとしました。

**理事の課題別分担**として①商品検討と普及、②仲間づくり、③地域づくり、④地域協同とたすけあい の4つの担当を決めて、課題を推進することとしました。

今期は産地・生産者訪問も理事会として推進し、商品開発や台所での活用を総代さんといっしょにすすめることとしました。

その一つとして今年度は年末のバター不足で慌てないために、鈴木牧場さんと共に、原乳からのバター作りを、まずは理事と総代のみなさんといっしょにやってみることとし、7/2に総代会後の活動打合せ会にて鈴木牧場さんをお招きして実験してみることとなりました。

**業務改善**では専務理事より新しい責任体制となり、職員が生協事業と活動に誇りを持って仕事をする姿勢をみんなでつくってゆく決意が述べられました。

### 2016年度 第2回理事会

#### ■協議検討事項

【第1号議案】理事会年間スケジュールの件

【第2号議案】組合員活動推進計画の件

【第3号議案】職員夏季賞与の件

【第4号議案】組合員活動における交通費支給のルール

【第5号議案】内部通貨発行ルールの件

【第6号議案】新・旧役員処遇

#### ■報告事項

・4-5月決算報告

・事業報告

・人事報告

・総代会/生産者交流会の反省点

・活動報告/サマーキャンプ開催報告

※第1回理事会は総代会当日、三役の互選をおこない、総代会に報告しました。

## 追加受講生募集！「はじめてのマクロビオティック講座」

昨年より開催しております、初心者の方のための「マクロビオティック講座」ですが、コース途中(全4回)でキャンセルが生じたので、若干名ですが追加募集を行います。

たいへん評判の良い授業で、人気の講座となっておりますので、ぜひこの機会にお申込みください。

### 【講座①】 はじめてのマクロビオティック講座

**日時** 7月30日(土) 10:00～13:00(デモンストレーション、実習、試食時間含む)

**メニュー** ・新生姜ごはん(分つき米) ・トウモロコシのすり流し ・たかきびのハンバーグ  
・きゅうりの和えものまたはサラダ

### 【講座②】 はじめてのマクロビオティック講座

**日時** 8月2日(火) 10:00～13:00(デモンストレーション、実習、試食時間含む)

**メニュー** ・全粒粉のフォカッチャ ・冷たいローストマトスープ ・フムス ・サラダ

\*旬の食材を予定しておりますため、天候などによりやむを得ずメニューの変更が生じることがございますこと、なにとぞご了承ください。

**【会場】** 常総生協調理室 **【講師】** リト 史織(クシマクロビオティックインストラクター)

キリトリ

## 「はじめてのマクロビオティック」講座 追加申込書

名前 \_\_\_\_\_ 組合員番号 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_

参加講座(複数申し込み可): ①7/30講座 ②8/2講座 保育の必要: あり( 人、才 ) なし

お申込み多数の場合は抽選になります。

「小さな上映会だより 2016-(5)」(生協DVD貸出状況) 脱原発とくらし見直し委員会

タイトル	観た人数	観た場所	観た組合員さんの感想(お礼の言葉は一部省略しました)
六ヶ所村 ラプソディー	3	自宅	多くの住民が再処理施設の稼働にやむを得ないという考えに変わっていく中で、反対の意思を示していくのはとても強い気持ちが必要であり、それを支えるのは仲間であることを感じました。自分にはなにができるのか改めて考えさせられました。ありがとうございました。
	2	自宅	2006年の作品で10年も前から、こんなに原発に反対している人がいたなんて知らなかった。福島の事故があっても、活動はちっとも活発となっていない。忘れてはいけないことだと再確認しました。
チェルノブイリ 28年のことたち	1	自宅	ウクライナ政府は、日本と比べてケアが手厚く、子供たちに対して責任をとろうとしている姿勢が感じられました。子供たちの保養効果や、食品に対する取り組みをもっと習うべきです。せっかくのキエフでの研究データを生かさなければ視察(日本政府)にきた意味がありません。医師の間でも、様々な意見があることも分かりました。ただ、30年以上教師をしている女性の「事故前の子供のほうがはるかに健康だった。やはり放射能は危ない」が真実だと思います。
祝の島	2	自宅	きれいな海を守る人々が暮らす島は、素晴らしいところだと思います。若い人たちが戻ってくればいいのに。原発入らない。島の自然が残せますようにと祈ります。

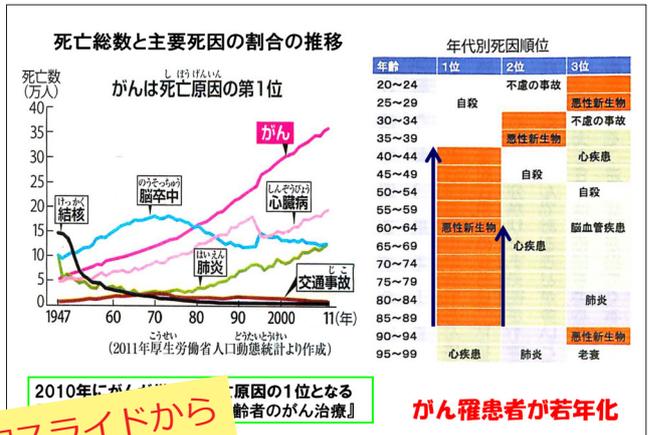
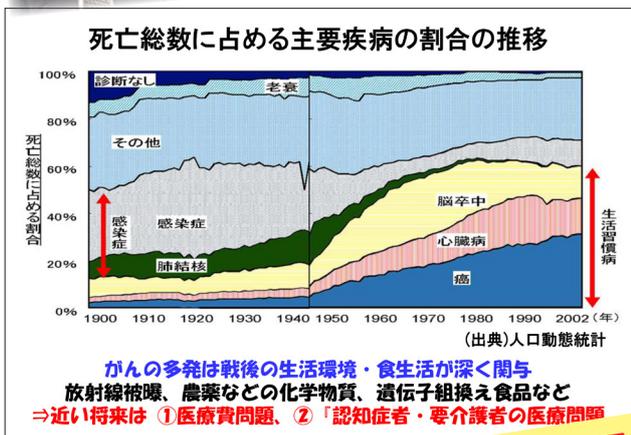
生協のDVD ライブラリーから貸出しをしています。注文用紙意見欄に「DVD 貸出～題名」をお書き下さい。

7/15 (金) 西尾正道講演会「これからの健康被害」(再掲載)

7月15日(金) 13:00開場 常総生協本部組合員活動室

第I部 13:20 ~ 「放射線の健康影響」

第II部 15:00 ~ 「TPP 参加と医療問題」



米国の医療を狙っている

1985年 MOSS(市場志向型分野別協議)  
⇒医療分野の市場開放を要求

2001年「年次改革要望書」  
⇒医療に市場原理の導入を要求

2011年 米通商代表部  
⇒医薬品の関税撤廃や貿易障壁の低減を目標とする

TPPへ

①日本の薬価制度では国が医薬品の値段を決める(医療機器も含む)  
実勢価格(納入価格)を参考に公定価格を決定⇒「新薬創生加算」追加  
⇒薬価は製薬会社が決定することとなる(切り札はISD条項)

②民間保険会社の参入強化  
保険外併用療養費制度(実質的な混合診療の解禁・拡大)  
(2012年11月のTPP推進の日米財界人会議の米国議長がアフラック日本の代表)

生命を脅かすTPPの2つの大きな問題  
【医療問題と食物問題】

- ★ 高濃度女性ホルモンが残留する牛肉  
女性ホルモン入り餌で生産性が1割高  
⇒米国牛肉の消費量と発がんが相関し5倍増  
(前立腺癌、乳癌、卵巣癌、子宮体癌)
- ★ 耐性菌に汚染された豚肉  
(米食品医薬品局報告: 69%は抗生物質耐性菌に汚染されている)  
(2013年9月米疾病対策センター報告: 米国国内で2百万人が抗生物質耐性菌に感染し、年間2万3千人が死亡している)  
⇒感染症に対する治療に支障
- ★ 緩和される残留農薬による健康被害  
(除草剤、ネオニコチノイド系農薬、ポストハーベスト農薬)
- ★ GM(遺伝子組み換え)作物  
(大豆、トウモロコシ、小麦 など)  
★ 人工甘味料(アスパルテーム)
- ★ コーンスターチ(澱粉)として多くの食品製造の素材  
GMトウモロコシは中性脂肪を増加させる